

東北支部

支部長 木村祐輔

東北支部会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。2020年も、大変残念なことに新型コロナウイルス感染拡大の影響で、皆さんと直にお会いすることが出来ないままに過ぎてしまいました。オミクロン株の到来が連日報道されており不安が増すばかりですが、このニューズレターが皆さんのお手元に届く頃には、この未知の変異株の性質もおおよそ判明しているのではないのでしょうか。今はただ、噂される第6波が世界に恐ろしい状況をもたらさないことを祈るばかりです。

【2021年度活動報告】

①

昨年、新型コロナウイルスの影響で延期しておりました東北支部大会を、今年度は岡田勝治先生を大会長とする坪井病院（福島県）の皆様のお力で5月29日（土）にオンラインで開催することができました。大会では、イアン・トーマス・アッシュ監督の『おみおくり～Sending Off～』を皆さんとともに鑑賞いたしました。福島県猪苗代町で在宅医療に取り組まれている今田かおる先生の診療の様子から、おみおくりされる方とそのご家族の心の移ろいが、猪苗代の穏やかな風景と静かの時の経過とともに記録された素敵な映画でした。

②

10月下旬に2021年度前期のニューズレターの発行を行いました。今回から新たな試みとして東北支部会員各施設の紹介文を掲載することと致しました。初回は6施設（坪井病院（福島県）、小川医院（福島県）、私立秋田総合病院（秋田県）、岩手県立胆沢病院（岩手県）、三友堂病院（山形県）、ときわ会病院（青森県））を掲載させて頂きました。ご多様の中、突然のお願いにもかかわらずご紹介文並びにお写真をお送りいただいた方々に心から御礼を申し上げます。今後、リレー方式で順次、各地域の施設をご紹介させていただく予定ですので、会員の皆様、ご連絡を差し上げました折には、是非ご協力の程よろしくお願い致します。

次号は2022年3月に発行を予定しております。こちらに年会費の振り込み用紙も同封いたしますので、年会費の納入もお忘れなくお願い申し上げます。年会費を2年間未納入の方は退会となりますのでくれぐれもお気をつけください。

【2022年度活動計画】

①

2022年5月に三友堂病院（山形県）の皆様により東北支部会を開催予定です。新型コロナウイルス感染状況にもよりますが、今年は是非、皆様と山形で交流できればと思います。

②

ニューズレターを秋と春の2回/年発行予定です。

【東北支部入会の問い合わせ】

本会の目的は、死の臨床において患者さんやご家族への真の援助の道を全人的立場から考えていくことです。関心のある方はどなたでも入会を歓迎いたします。入会手続きにつきましては、お気軽に下記事務局までご連絡ください。支部入会金、並びに支部年会費ともに1000円です。

【日本死の臨床研究会 東北支部事務局】

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通2丁目1-1

岩手医科大学附属病院緩和医療学科

電話：019-613-7111（代表）

FAX：019-907-8468

担当：木村・川村